

第4問 次の文章を読んで、後の問い(問1〜6)に答えよ。(設問の都合で返り点・送り仮名を省いたところがある。)
(配点 50)

唐臨為大理卿、初蒞職、断一死囚。先時坐死者十余人、皆他官所断。会太宗幸寺、親録囚徒。他官所断死囚、称冤不已。臨所断者、默而無言。太宗怪之、問其故。囚对曰、「唐卿断臣、必無枉濫。所以絶意。」太宗歎息、久之曰、「**A**為獄固当若是。」囚遂見原。即日、拜御史大夫。太宗親為之考詞、曰、「形若死灰、心如鉄石。」**C**

初、臨為殿中侍御史、正班。大夫韋挺責以朝列不肅。臨曰、「此將為小事、不以介意。請俟後命。」翌日、挺離班、与江夏王道宗語。趨進曰、「王乱班。」將彈之。道宗曰、「共公卿大夫語。」臨曰、「大夫亦乱班。」挺失色而退。同列莫不悚動。**F**

(劉肅『大唐新語』による)

(注)

- 1 大理卿——大理寺(司法を担当する役所)の長官。
- 2 太宗——唐の第二代の皇帝。
- 3 録——裁判に間違いがないか、再点検すること。
- 4 冤——無実の罪。
- 5 枉濫——法をまげて罪におとし入れること。
- 6 御史大夫——御史台(役人の不正取り締まり・式典の進行などを担当する役所)の長官。
- 7 考詞——役人の業績や人格を評した言葉。
- 8 殿中侍御史——御史大夫に従属する官。
- 9 班——儀式における席次。
- 10 大夫——御史大夫を指す。
- 11 朝列不肅——朝廷での儀式の列が整っていないこと。
- 12 江夏王道宗——唐の王族のひとり。
- 13 悚動——恐れて震えあがること。